

こだわり素材のご昼食をご用意

三年に一度開催の「北アルプス国際芸術祭」と 安曇野アートラインをめぐる 長野アート旅 2日間

生活クラブ
スタッフ
提案の旅
白岩 楓子企画

北アルプス国際芸術祭

「北アルプス国際芸術祭」は「水・木・土・空」をコンセプトに、3,000m級の峰々が連なる北アルプ스에抱かれた長野県大町市を舞台に開催されます。長野の北西部に位置する大町市は水資源が豊富な地域であり、また、信州と海の物流の要であった「塩の道」の宿場町として栄えていたなど歴史ある町でもあります。そんな大町市を芸術文化の創造性を活かして地域資源と結びつけることで、潜在的な魅力を引き出し、市民が協働で個性的なまちづくりを進める取り組みの一環としてこの芸術祭は始まりました。芸術祭期間は、特徴ごとに市内が5つのエリアに分けられ、それぞれの魅力を引き出した作品が展示されます。また、地元のお母さんたちが作る旬の地元食材を使ったご昼食もご賞味いただけます。大町市の自然と融合した作品と、この地域ならではの食文化や風土をあらわすお料理をお楽しみください。※オフィシャルガイドが同行いたします。



安曇野ちひろ美術館

安曇野ちひろ美術館は、絵本画家・いわさきちひろさんのちひろ美術館・東京の開館20周年を記念して開館しました。美術館のある松川村は戦後ちひろさんの両親が開拓農民として暮らした土地で、彼女は折りにふれてこの地を訪れ、多くのスケッチも残しています。館内ではちひろさんの作品はもちろん、世界の絵本作家の作品や絵本の歴史を知ることができる展示もご鑑賞いただくことができます。「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」というちひろさんの言葉が体現された優しさ溢れる場所で心やすらぐひとときをお過ごしください。

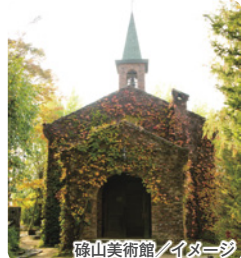
安曇野ジャンセン美術館

フランスで活躍したアルメニア人画家、ジャン・ジャンセンの世界初の専門美術館です。ジャンセンは、故郷アルメニアの歴史の悲惨さを描いた作品が評価され、フランスのレジオン・ドヌール勲章とアルメニアの国家勲章を受章しています。自然の中にひっそりと佇む美術館にてゆっくりと作品鑑賞をお楽しみください。



碌山美術館

明治期に活躍した日本近代彫刻の父・荻原守衛(碌山)の作品と資料が保存・展示されている美術館です。1958年に碌山の生地である安曇野に開館しました。敷地内は木立の中にれんが造りの建物が並び、雰囲気のある落ち着いた空間となっています。碌山の作品のほか、高村光太郎など碌山と関係の深い芸術家たちの作品も見いただくことができます。



ご宿泊いただくホテル ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん



北アルプスの麓・大町にある、四季折々の自然を感じられるホテルでおくつろぎください。



旅行期間 2024年10月14日(月)~10月15日(火)

旅行代金 2名様1室利用(お一人様) **93,000円** 募集人員 18名様
※1名様1室追加代金9,000円(1泊) (最少催行人員14名様)

宿泊ホテル ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん(洋室/ツイン)

1 新宿駅(8:00) -- (特急あずさ) -- 信濃大町駅(11:16) →
●北アルプス国際芸術祭をご見学・地元の旬の食材を使った
芸術祭ならではのご昼食も → ホテル(17:30頃)
食事:朝×昼○夕○

2 ホテル(9:10) → ●安曇野ちひろ美術館(絵本作家いわさきちひろの作品を展示している美術館) → ●安曇野ジャンセン美術館(世界初のジャン・ジャンセン専門美術館) → ●大王わさび農場にて和食膳のご昼食 → ●碌山美術館(日本近代彫刻を代表する彫刻家・荻原守衛の作品が展示されている小さな美術館。また、「碌山館」は国の登録有形文化財) → 松本駅(16:30) -- (特急あずさ) -- 新宿駅(19:08) 食事:朝○昼○夕×

■最少催行人員/14名様 ■添乗員/同行します
■食事/朝食1回、昼食2回、夕食1回
■交通機関/JR(特急あずさ)、大型または中型または小型貸切観光バス(アルピコ交通等) ■集合場所/新宿駅
■ご案内 ※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。※交通時間は、予定時間となります。ダイヤ改正などで時間に変更になる場合もございます。
※1日1食は和室座敷での食事となり、椅子席はありません。あらかじめご了承ください。